

# 生活

## 生活科における改訂のポイント

### 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について

#### (1) 生活科の学習の特質

ア 児童の思いや願いを育み、意欲や主体性を高める学習活動にすること。

→例えば・・・人，社会，自然との出会わせ方を工夫する

思いや願いがさらに膨らむような学習活動を展開する

イ 児童の身近な生活圏を活動や体験の場や対象にし、本来一体となっている人や社会，自然と身体を通して直接関わりながら，自らの興味・関心を発揮して具体的な活動や体験を行うことを重視すること。

→いたずらに学習の場や対象を広げるのではなく，一つ一つにじっくりと関わったり，繰り返し関わったりすることのできる学習活動が大切

ウ 活動や体験の中で感じたり考えたりしている児童の姿を丁寧に見取り，働きかけ，活動の充実につなげること。

→多様な児童の発言やしぐさを丁寧に見取り，指導に生かすことが大切

尋ね返し，問いかける，共感するなど

エ 表現したり，行為したりすることを通して，働きかける対象についての気付くとともに，自分自身についての気付きをもつことができるようにすること。

→関わる対象への気付きが生まれることが大切

一人一人が以前の自分より向上し，成長したことに気付くことを大切にする

#### (2) 授業改善の視点例

○ 自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか

○ 話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか

○ 学びの深まりを作り出すために，児童が考える場面と教師が教える場面とをどのように組み立てるか

### 2 「生活科の見方・考え方」について

#### (1) 身近な生活に関わる見方・考え方を生かすこと

ア 生活科における見方・考え方とは，身近な生活に関わる見方・考え方であり，それは身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとすることです。

イ 他教科等と異なり「見方・考え方を働かせ」とせず「生かし」としているのは，幼児期における未分化な学習との接続という観点からです。

### 3 「気付きの質を高めること」について

【気付きとは】

・対象に対する一人一人の認識

- ・児童の主体的な活動によって生まれるもの
- ・知的な側面だけではなく、情意的な側面も含まれる
- ・あれっ」「どうして」「なるほど」などのように心の動きを伴って気付くもの
- ・気付きは、確かな認識へとつながるもの

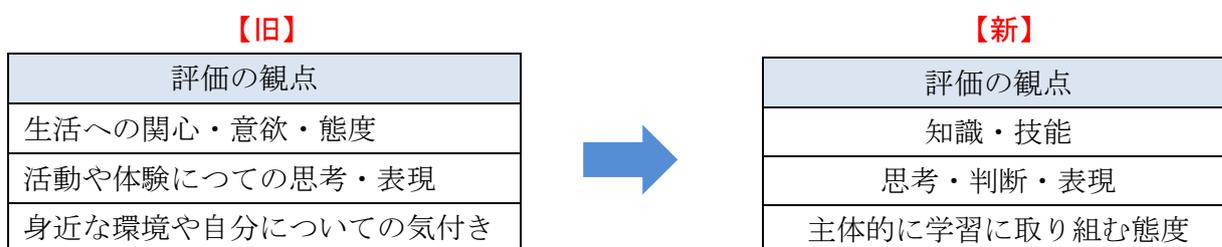
#### 【気付きの質が高まるとは】

- ・無自覚だった気付きが自覚される
- ・個別の気付きが関連付けられる
- ・自分自身についての気付きが生まれる

### 生活科における学習評価のポイント

#### 1 生活科における評価の観点について

- 3つの柱で整理された育成を目指す資質・能力に対応するように、評価の観点も以下のように3観点到整理して示されています。



#### 2 「知識・技能」の評価

評価するに当たっては、①気付きが自覚されること、②個別の気付きが相互に関連付くこと、③対象のみならず自分自身についての気付きが生まれること、を気付きの質の高まりとしてみとることが大切です。また、生活上必要な習慣や技能については、特定の習慣や技能を取り出して指導するのではなく、思いや願いを実現する過程において身に付けていくものであることに留意する必要があります。

#### 3 「思考・判断・表現」の評価

評価するに当たっては、①見付ける、②比べる、③たとえる、などと示された分析的に考えること、④試す、⑤見通す、⑥工夫する、などと示された創造的に考えることを踏まえる必要があります。

#### 4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

評価するに当たっては、

- ① 「ねばり強さ」…思いや願いの実現に向かおうとしていること
  - ② 「学習の調整」…状況に応じて自ら働きかけようとしていること
  - ③ 「実感や自信」…意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとすることを繰り返し、安定的に行おうとしていること
- などを踏まえる必要があります。